

## 評価結果概要表

### 【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3870300906
法人名	有限会社 エンジェルハウス
事業所名	グループホーム紙ふうせん
所在地	愛媛県宇和島市三間町成家845番地
自己評価作成日	平成21年11月10日～11月30日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

### 【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成22年12月16日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

利用者や家族が安心して暮らせるよう、情報交換しながら信頼関係を築き、その人に合ったサービスの提供や見直しなどを行い、計画を立て実践出来るよう、スタッフも、研修や勉強会の機会を設け、事故防止や、質、技術の向上に努めている

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

2ヶ月に1回の運営推進会議では、ご家族・地域の方・市の担当者などの出席により行事報告や情報交換をされている。自治会長の方には、事業所から道路に出るところで事故が頻発していることを相談すると、ミラーを設置する手続きをしていただけで、利用者・職員も安全に出入りができるようになった。事業所の畑の野菜を利用者と一緒に収穫されたり、近所の農家から野菜を分けていただく等、新鮮な野菜を使って食事作りをされている。2つのユニットでおかずを作り、分け合うようにされている。利用者は、ゆで卵の皮むきをされていたり、食器拭きは得意な方がされている様子がうかがえた。包丁使いに自信のある方が剥いた柿が軒先に吊るされてあった。時には、お弁当を作って皆で出かけた、外食をされることもある。

### ・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目：9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18,38)	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目：11,12)
60	利用者は、戸外に行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目：30,31)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目：28)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

# 自己評価及び外部評価結果表

## サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

### 【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

### 用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。  
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!  
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!  
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名 グループホーム紙ふうせん

(ユニット名) Bユニット

記入者(管理者)

氏名 松岡 敬子

評価完了日 平成 21 年 12 月 4 日

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
<b>理念に基づく運営</b>				
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価)	
			会議などに理念の再確認など行い、事業所の理念を理解し、実践出来るよう、それぞれが気にとめながら取り組んでいる	
			(外部評価)	
			開設当時、職員から意見を集めて理念を作成され「ホームの名前でもある紙ふうせんのようにま～るい心で、利用者にもご家族にも地域の方にも、接していこう」ということを目標にされている。管理者は「落ちそうになる人を下から支えるという気持ちも込めている」と話されていた。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価)	
			納涼祭や、学校、保育園との交流を年に2～3回位行ったり、運営委員会などにも参加してもらいながら交流している	
			(外部評価)	
			事業所で開催する納涼祭に来ていただいたり、地域の溝掃除を職員がお手伝いされたり、とお付き合いの幅が広がっており「徐々に地域の方々に事業所の存在が知られてきた」と管理者は、実感されていた。保育園や小学校の運動会等の行事を見学に行ったり、運動場を散歩させてもらうこともある。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価)	
			地域の方々や施設見学者の方たちの相談や、質問には、いつでも受け入れや、返答が出来るようスタッフへの勉強会も行いながら努めている	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>(自己評価) 2ヶ月に1回は実施している 地域や家族代表の参加もあり、顔なじみにもなれてきているので、もう少しスタッフも参加出来るような環境を作って、サービスの向上に活かしたいと努めている</p> <p>(外部評価) 2ヶ月に1回の会議では、ご家族・地域の方・市の担当者などの出席により行事報告や情報交換をされている。自治会長の方には、事業所から道路に出るところで事故が頻発していることを相談すると、ミラーを設置する手続きをしていただけて、利用者・職員も安全に出入りができるようになった。</p>	
5	4	<p>市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 管理者が主に連絡を取っているため、事務所やスタッフは電話対応する程度だが、ひとつひとつの電話を大切に対応し協力関係がうまくいくよう取り組んでいる</p> <p>(外部評価) 市の支部長の方が主導で、三間町の介護保険事業所・ケアマネージャー・保健師が参加する「三守隊」という連絡会が立ち上げられており、3ヶ月に1回、管理者と職員が参加し、情報交換をされている。運営推進会議に出席した市の担当者からは、インフルエンザやイベントの情報等を教えてもらっている。</p>	
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 身体拘束は現状では行っていない 必要な時は、家族、管理者の同意のもとだけ出来るだけしないよう、見守りなど強化しながら取り組んでいる 研修会や、勉強会などでも自主防止を指導している</p> <p>(外部評価) 管理者と職員は「身体拘束は行わないことが当たり前」との考えのもと、利用者の所在確認を徹底するようにされており、利用者の居場所を職員は把握することに努めておられる。ベッドから転落する危険性がある場合は、ご家族と相談をしてベッドを外し、マットレスの上に布団を敷いて休んでいただくようにされている。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 「言葉の虐待」に特に注意し、月に1~2回の勉強会などで話し合ったり、苦情委員会や苦情箱なども活用しながら、その時々話し合いや相談の場を持つようにし防止に努めている	
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) ホームでも対象者がおり、勉強する機会が持てたし、個人を守る制度の重要性を感じた。研修を受けた者も数名いるので、理解は難しいが支援していこうと思う	
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 入所時に説明し契約の締結は出来ているが、転倒の危険性や、急な状態変化、団体行動の必要性など細かく個人的に説明はしており理解、納得はしてもらっているが、記録に残しておくことが必要ではと方法との考えに基づき、現在改善中である	
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 利用者、家族の意見や要望は、面会時や意見箱、日常の会話などの中から受け止め、スタッフ会議やミーティングなどで話し合い、改善や運営に反映させている	
			(外部評価) ご家族の来訪時、職員は管理者に知らせ、管理者が日頃の様子を伝えて意見があれば言ってもらえるように伝えられている。又、ご家族からも「家族会の立ち上げには協力したい」と言ってもらっている。	事業所では、ご家族に職員の名前を覚えていただけるような良い方法はないか検討をされており「家族会」を来年度から開催したいと考えられていた。ご家族のご意見等も聞き取りながら、さらなるご家族との関係を深めたり、事業所のサービスの質向上に向けた取り組みにつなげていかれてほしい。



自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 朝の申し送りや、ミーティング、スタッフ会議などには出席し、意見を聞きながら、受け入れや改善に反映させている (外部評価) 管理者は、職員全員で行った自己評価をまとめる際、職員それぞれのケアの考えを知ることができたようである。日々の勤務の中で職員間で意見が複数出たような場合には、ゆっくりと話し合う時間を作るようにされている。事業所ではノートを作り、職員がいつでも自由に意見等を出すことができるようにされており、早い段階での解決ができるよう取り組まれている。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価) 休憩時間は、休憩室を利用して、くつろいでもらったり、個々に努力している事を認め合い、助け合いながらみんなで協力し合ったり、意見なども聞ける機会や場を設けるように努めている	
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 実践リーダー研修などに参加し、業務改善や、人材育成など進めているが、個々の意欲がいまひとつなので、勉強会や資料の配布などをしたりして、ホームの向上に努め、研修参加の機会も認め、日常業務に生かせるよう進めている	
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価) 交流は少ないが、宇和島市が立ち上げているグループホーム連絡会や、同業者の会合に出席させ意見交換や情報交換、研修会参加などサービス向上に取り組んでいる	
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>				
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価) それぞれが気を配り、話や意見をを聞いたりしながら体験入所の受け入れなども行い、安心して利用してもらえるよう信頼関係の維持に努めている	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		初期に築く家族等との信頼関係サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価) 家族の要望などある場合は、体験入所と言う形で一時2~3日預かったり、家族の要望、希望などは受け入れ時や見学時に必ず聞いてあげ、安心して入所決定につなげるよう努めている	
17		初期対応の見極めと支援サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 利用者の情報収集をする際、プライバシーを考慮しながら聞き取りを行い、サービスを開始する段階での計画作成に取り入れていけるよう努力している	
18		本人と共に過ごし支えあう関係職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価) 一つの家族のように、お互いの存在を感じながらアットホーム的な時間を過ごしてもらえよう、お互いの思いやりを大切にしながら関係を築いている	
19		本人を共に支えあう家族との関係職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 家族が相談しやすいような環境作りに努め、相談や希望、要望に耳をかたむけながら本人との関係が途切れないような関係を築いている	
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) それぞれの状況によっては、親戚や知人の来訪は少なくなりがちなので、出来るだけ関係が途切れないよう、面会時間の制限、外出、外泊の自由性や自室で落ち着いて話せるよう心遣いに努めている (外部評価) 日常的に利用者の知人が面会に来られており、他の利用者が席を譲ってくださる等、歓迎をされている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 同年齢の同士が助け合ったり、食事の席などにも配慮し、孤立しないよう職員が取り持ったり気をつけるように努めているが、なかなか難しいのが現状です	
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 退所された方の家族からの相談などにも対応したり、再利用される方などもあり、関係を大切にしよう努めている	
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 毎月1回ユニットのリーダー、管理者との会議を開き、問題点や関わり方など話し合ったり、本人からの希望なども聞き、本人主体に問題点や関わり方など話し合ったりしている (外部評価) センター方式の様式の一部を用いて、利用者の思いを記録されている。さらに、外部研修の際に得た情報をもとに使い易い様式に改善され、利用者の状態を職員全員で共有するためのツールを揃えているところである。利用者が「帰りたい」「ご飯作らんといけん」等言われた時には、受け止めるようにされている。	事業所では、現在、アセスメントに用いる様式を整えている途中である。検討を重ね、利用者一人ひとりの現状を把握しやすく、ご本人の思いや意向をくみ取れるようなアセスメントの工夫をすすめられ、ケアにつなげていかれてほしい。
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 本人の馴染みの品の持ち込みや、今までの生活環境、生活歴など関係機関との連絡を大切にしながら、支援するよう努めている	
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) ちょっとした変化にも気をつけるようスタッフ同士の意見交換や、現状把握が出来るよう記録に目を通したり、一人ひとりの過ごし方など日々の生活に気をつけるよう努めている	



自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価) スタッフ同士話をしたり、意見やアイデアなど出し合ったりしながら、家族の意見、本人の希望なども取り入れカンファレンスや、モニタリング評価など行い介護計画作成に努めている</p> <p>(外部評価) ご家族が面会に来られた時に、介護計画を見ていただき意見をうかがっておられる。計画の見直しは3ヶ月に1回、ケアマネージャーと職員で話し合われている。利用者に変化があった場合は、状態に合わせて計画を見直されている。</p>	<p>「ご本人がより良く暮らす」ことを支援するためにも、利用者個々の思いや意向の把握の取り組みをすすめ、ご家族ともご本人の生活とケアのあり方について話し合う機会を作り、要望や意見を具体的に引き出し、計画に採り入れていかれてほしい。よりご本人主体の介護計画の作成への取り組みが期待される。</p>
27		<p>個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>(自己評価) 業務改善などにより、記録を重視した意見交換、改善方法など検討しながら、記録の必要性を確認したうえで実践し、計画の見直し等に活かしている</p>	
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) プラン以外のサービスについては、記録に残したり、スタッフ同士で情報交換を行い、柔軟なサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	
29		<p>地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>(自己評価) 地域の行事や催し物など、出来るだけ参加したり、又参加してもらったり、暮らし慣れた人々、環境を把握して係わりが持てるよう支援している</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	<p>かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している</p>	(自己評価) 本人のかかりつけ医はそのまま持続してもらったり、 協力医に関しては、いつも快く受け入れてもらって いるので、気軽に何でも相談でき、家族や本人も安心し ていられるよう支援している	
			(外部評価) 入居される前のかかりつけ医に引き続きかかる利用者 の受診時にも、職員が同行されている。何ヶ所も通院 しなければいけなかったり、長時間の通院になる場合 は、ご家族と連携をとってパトタッチされることも ある。受診の結果は、ご家族から報告して頂いたり、 事業所から伝えたりして、ノートに記録するようにさ れている。	
31		<p>看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している</p>	(自己評価) 看護師の設置義務はないが、有資格者がおり、看護知 識を共有させてもらっており、体調の変化など助言を 受け、その後の受診等により対応しながら支援してい る	
			(外部評価)	
32		<p>入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療でき るように、また、できるだけ早期に退院で きるように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行ってい る</p>	(自己評価) 担当医や病院との情報交換は電話やファックスにて密 に取り合いながら、指示、助言を受けながらいい関係 作りを行っている	
			(外部評価)	
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支 援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合い を行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる</p>	(自己評価) 重度化や、終末期の医療行為が発生した場合などを予 測し、本人、家族、かかりつけ医と話し合い、可能な 限りホームでの生活が出来るよう、スタッフ全員で取 り組んでいる	
			(外部評価) 「最期までここにおりたい」と言われる利用者や、 「ぎりぎりまで見てほしい」といわれるご家族の思い を受け止めて、入院されてもできるだけ早く退院して いただけるよう、医療機関と連携を図り支援されてい る。事業所で看取りをされた経験もあり、職員全員で 関わることで「生きた勉強になった」と話されてい た。今後、ご家族に事業所の方針を示し説明するた めの書類も考えておられた。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価)	緊急連絡網や、会議などの時に再確認したり、スタッフルームにも掲示したりして実践もしている
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価)	総合防災会社に管理など委任し、定期的に防災、防火訓練など行ったり、避難方法など掲示してそれぞれが常に気をつけるよう体制を築いている
			(外部評価)	居室は全部1階にあり、四方に出口があり、どこから出火しても外へ避難出来るような造りになっている。建物は、耐震強度が強い造りにもなっており、停電があっても一定時間は暗くならないようになっている。運営推進会議時や近所の方にもいざという時の協力をお願いされている。
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>				
36	14	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価)	ホーム内では自由に行動してもらいながら見守りをし、言葉かけには十分気をつけながら、一人ひとりの人格を尊重し日々対応している
			(外部評価)	管理者は、言葉かけについて、職員に命令口調にならないよう「されませんか」と問いかけるように話すことを指導されている。掃除を丁寧にしてくださった利用者を職員が「ありがとうございますきれいになりました」と労っておられる様子がうかがえた。
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価)	自己決定出来る事は、本人の要望など出来るだけ受け入れるよう配慮し、出来ない事に対しては、家族や本人への説明などで、納得してもらえよう家族や、スタッフで協力し合っ本人の気持ちを大切にしよう働きかけている

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 職員の都合で、利用者に命令するような事をひかえて、本人にどうしてあげたらいいのかが常に考えながら支援するようスタッフも、実践に努めている	
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) 理容、美容は定期的に行い、服装など自分で出来る人は本人に任せたり、一緒に選んだりして楽しんでもらっている 食後の口腔ケア、整髪にも気を配りながら支援している	
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 下ごしらえや片付けなど、出来ることには参加してもらったり、味見をしてもらったりしながら好物を聞いたり、盛り付けなど、スタッフ同士でも考えながら楽しく、美味しく食べてもらったり、畑の野菜などを作ったり、収穫したりしながら季節を感じてもらえるよう支援している	
			(外部評価) 事業所の畑の野菜を利用者と一緒に収穫されたり、近所の農家から野菜を分けていただく等、新鮮な野菜を使って食事作りをされている。2つのユニットでおかずを作り、分け合うようにされている。利用者は、ゆで卵の皮むきをされていたり、食器拭きは得意な方がされている様子がうかがえた。包丁使いに自信のある方が剥いた柿が軒先に吊るされてあった。時には、お弁当を作って皆で出かけたり、外食をされることもある。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 体重チェックなどしながらバランス的な事を考慮し、調理方法や水分補給チェック、食事の摂取量チェックなど一人ひとりの支援を行っている	
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 食前食後の口腔ケアの徹底と、義歯の洗浄や、口腔ケア用品の整理整頓などに努めている	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価) 出来るだけトイレにて排泄が出来るよう、居室にはポータブルトイレは置かないよう努力し、スタッフによる誘導にて支援している (外部評価) 排泄チェック表に時間を記入することで、個々の排泄の傾向がつかめ、昼間は職員の誘導で、利用者は失敗することなくトイレで排泄できているようである。夜間は、ゆっくり休んでもらえるようおむつ等を使用されている方もいるが、夜間の転倒を防ぐために、職員がトイレにお連れしている。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価) スタッフ全員で情報を交換し、排便チェックを確認しながら、薬や食べ物、飲み物など調整し、出来るだけ自然排便に取り組んでいる	
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価) 車椅子の方などリフト入浴の関係上、お願いして曜日を決めていることありますが、利用者の希望などもあり、1日毎の入浴になっている事が多いが、希望などは優先して支援している (外部評価) 事業所に浴室はあるが、デイサービスの大きなお風呂に入られる方が多い。そのため、午後入浴となり、仲良しペアが自然と出来上がって順番も決まってきたようである。長い間入浴されてなかった方も、足を痛めたことをきっかけに「先生が温めた方がいいと言われたね」と伝えるとお風呂に入られるようである。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価) 夜間の見守りは、頻繁に行う様にし、状況に応じて寝る前の声かけなどして、安心して眠れるよう雰囲気作りにも支援している	



自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 誰が見ても分かるように説明書を準備し、勤務者で確認し間違いがないよう常に注意したり、症状の変化にも支援出来るよう努めている	
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 特技などを活かした手芸や、お花、家事をやったり、年にとらわれず若い歌やゲームに参加してもらえるよう努めている	
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 散歩、外気浴など近所に出かけたり、ドライブや買い物など、本人の希望など聞きながら計画を立てて実践するよう努めている	
			(外部評価) 散歩は、コスモスを見に行ったり、保育園や小学校や公園に行ったり、色々なコースがある。希望を聞き取り「外食」「買い物」のグループに分かれて出かけることもある。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 事務所で預かり管理している人もいて、必要な時本人に渡しているが、多額のお金は預からないよう家族に伝えている	
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 電話など掛けたり、取次いでいる。自由にしてもらっているが、掛ける時は理由がない限り夜19:30までとし、受ける時は21:00までとしている 手紙などは本人にそのまま渡したり、読んであげたりして、今までの関係が切れないよう支援している	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>足音、話し声、物音など大きな音を出さないよう常に注意し合い、温度、湿度にも常に配慮している 頂き物の花などある時は、利用者と一緒に生けたりして、生活感、季節感を取り入れるよう工夫している</p> <p>(外部評価)</p> <p>玄関を入ると、靴を脱がないうちに手洗いが出来るように洗面台があり、訪れる方はうがいや手洗いをするようになっている。トイレには木札に「トイレ」と書いて目の高さに取り付けてあった。居間にはクリスマスツリー、外壁にはイルミネーションが飾られ、夜は12時まで点灯されている。</p>	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>利用者同士の相性もありうまくいかない事もあるが、自室を大切に、自分の家のようにゆっくりくつろげる場所を提供し、気の合った者同士が自由に行き来できるよう工夫している</p>	
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>本人に必要と思われる物は家族に自由持参してもらって、あまり生活空間が無くならないように気をつけてもらい、安心して過ごせるよう工夫している</p> <p>(外部評価)</p> <p>居室の壁には、ご家族と一緒に写っている写真や自分で塗った塗り絵を貼られ、タンスや衣装ケース、仏壇を持って来られている方もある。入居されたばかりで落ち着かない方に、ご家族の協力を得てご自宅で身近に置いておられた飾り棚を持って来ていただいたことで、落ち着かれたというような事例もある。</p>	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	<p>(自己評価)</p> <p>自分で出来ることは見守りに留め、難しい事、時間のかかる事等を手伝ったり、一緒に行ったりするようにして、自立の邪魔にならないよう工夫している</p>	